

※定員のある事業については、2月1日から(午前9時から午後5時まで、日・祝は除く)受付します。先着順のため定員になりしだい締め切ります。幼児については、保護者同伴でお願いします。必ず上靴を持ってきてね!

日	時間	事業名	内容	定員
2月 6日(土) 13日(土) 20日(土) 27日(土)	14:00~16:00	子ども広場	<b>「将棋広場」</b> ～初めての人・少しでも興味を持った人は、気軽に参加してください～ 対 象:おおむね小学1年生～6年生 ※開催日が変更になる場合があります。	なし
2月13日(土)	10:00~11:30	子どもおもしろ教室	<b>親子クッキング「かんたんチョコレートケーキ作り」</b> ～親子で楽しくカップケーキを作ろう!～ 対 象:小学生の親子 (ただし、小学4年生以上は子どもだけの参加可) 持ち物:材料費200円/人・エプロン	子どもの人数で15人
2月17日(水) 2月21日(日)	期間中毎日 10:00~17:00	子ども広場	<b>「巨大迷路」</b> ～体育館に巨大迷路が出現!～ ※2月17日(水)は、組立作業のため15時00分開始。 ※2月17日(水)は、スタンプラリーを行います。 ※2月21日(日)は、昼12時00分に終了します。 ※毎日コースが変わります。	なし
2月25日(木)	10:00~11:30	子育てセミナー	<b>「親子体操」</b> ～親子で楽しく体を動かそう!～ 講 師:山本尚明氏(体育文化指導協会) 場 所:青少年児童センター 体育館 持ち物:水筒・タオル・着替え・親子とも体育館シューズ ※定員はありませんが、初めての方は事前に申込が必要です。	なし
2月27日(土)	10:00~11:30	子どもおもしろ教室	<b>「シュート棒とぶんぶんごまを作ろう!」</b> ～お祭りの夜店などで売っていた「すーつと伸びて戻ってくる」シュート棒と「ぶんぶん」と音のなるぶんぶんごまを作ります～ 対 象:幼児と小学生	15人

## サラダボール

先日、75歳で亡くなった父の七回忌法要を務めた。父は50歳ぐらいの時から段々と視力を失い始め、亡くなる4～5年前には完全に視力を失っていた。難しい病名で、30万人に一人かかるかどうかという病、何ともついていない父だった。

視力を失ってまもなく、椎間板ヘルニアを患い、医者への通院を余儀なくされた。父に付き添って電車で通院していたとき、父の姿は、濃いサングラスに白い杖、その上、足を引ぎずっていた。それを見た電車の乗客の一人が、親切にも自分が座っている座席から立って席を譲ってくれた。普通であれば、お礼を言って譲られた席に座ればいいのだが、父は私

が想像もしなかった反応をした。

親切を断ったのだ、それも怒って。私はなぜ父が怒っているのかが理解できず、その場は席を譲ってくれた人にお礼を言い、そしてあやまった。

その日の夜、父に、電車の中でなぜ親切を断り怒りだしたのかを問うと、父は、「自分は障がい者ではない。他の人にかわいそうな人間と見られたくない。普通に接してほしい。」と答えた。他の人から見ると、父は障がい者に見え、多分、席を譲ってくれた人も、父が困っていると思い、親切に席を譲ってくれたのだろう。

しかし、父は、障がい者でかわいそうな人だと見られたことは、自分には耐えられなかったのである。もし

かすると、父自身が健常者であったころ、障がい者を、かわいそうな人だと見ていたのかもしれない。私の中でも、障がい者に対し、健常者とは違うという思いで接していたかもしれない。父のように、事故や病気などで障がいを持った人はたくさんおられるだろう。

しかし、障がい者の自立を考えるとき、はたしてかわいそうな人、弱い人だから助けてあげる、という考え方でいいのだろうか。私たちは、みんなが互いに助け合う仲間なのだ。ともに社会に参加することができる、そんな住みやすい社会であってほしいと願わずにはいられない。

(人権推進課)